

2023年 3月号

一般社団法人被曝と健康研究プロジェクト

<http://hibakutokenkou.net/>

今

# フクシマのリアル

座談会 『復興格差』を問う



奥平 正氏 (75) ▲ 1972年創刊の月刊雑誌『政経東北』主幹。昨年10月20日364ページに上る『創刊50周年記念増大号』を刊行した。福島県二本松市生まれ。早大在学中に執行猶予判決。猶予中の73年に『政経東北』編集部に採用された異色の人。

田代 真人氏 (80) ▲ ジャーナリスト、一般社団法人「被曝と健康研究PJ」代表。長崎県生まれ広島大。新聞社に40年近く在籍後、那須町で311に遭遇。「市民と科学者の内部被曝問題研究会」創設。親御さんらの声に押され現団体で子ども甲状腺検診を実施中。

飛田 晋秀氏 (75) ▲ 写真家。著書に『福島記憶』(旬報社2019年)。1996年頃から生地の福島県三春町を中心に「職人」を撮る。311の際、記録してくれとの声に悩むも、小2の子の「お嫁に行けるの？」の問いに号泣。以来フクシマを撮る。

田代 いま、非常に驚いているんですが、政治の動きがひどい事になっています。これは、もう、時代の大きな転換だと言っている人もいます。とにかく軍事力を拡大しなきゃいかんと、理由も何もほとんど国民には言わないで 43 兆円も税金をつぎ込む。その後も、毎年 1 兆円くらい特別調達する。

それで、予算から、金を軍事に回せ、復興予算も、コロナ資金も、病院の積立金も回す。不足なら増税もしよう。ちょっと考えられないような事態が進行しています。

そういう中で、この福島をどう考えたらいいのか。今の福島、ほとんど知らない。事故当時は、なんだかんだとメディアも時間を割いてやりましたけど。10年過ぎてみると、ほとんど福島の実情には、大きなメディアはふれないですね。毎年 3.11 前後にちょこっとやる程度。それも大体、政府ベースでやっていますので、実の所どうなんだっていう所はほとんど知られていないと思います。

だから、今こそ、福島をリアルに示す。福島のリアルを知らせるべきだ、と強く思います。そこで、福島で月刊『政経東北』の 50 年史も出された奥平正主幹、311 以来住民の実態を撮り続けている飛田晋秀さんと語り合いたい、と願いました。この原発の事故、3・11 を、福島の、今のリアルな状況をどう見るか。そこ辺りからお話願ったら、と思います。

「おじちゃん、私大きくなったらお嫁さんにいける？」

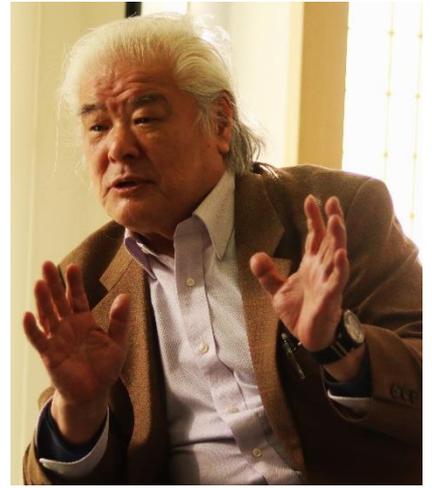
飛田 かつて、こういうことがありました。当時、自民党本部に、谷垣総裁がいらして、その時に、セレモニーに来てくれと言うので、行きました。そこには、当時の副幹事長、補佐官と、福島県内の国会議員がいましたが、確か、原発にはまだ入れなかったものですから。行事が終わった時に、記者が、総裁、この災害の現実をどういう風に思いますか、と聞いたんです。

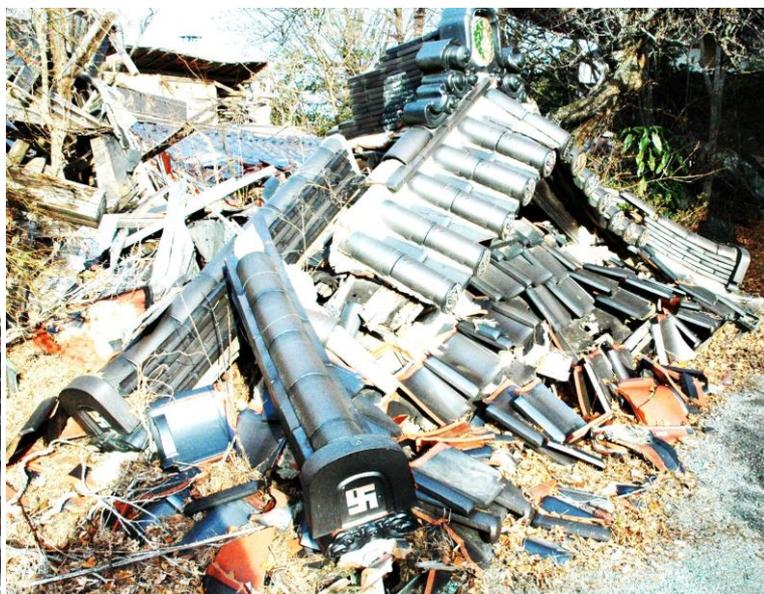
谷垣総裁は、これは大変な事だし、今は、自民党は野党だけど、政府と協力して何とかお手伝いをしたいと言いました。特に思ったのは、その時に、福島県の国会議員が質問してて、記者のほうから止められたという。そういうような事もあって、それで副幹事長が、福島の先生方、何やっているんですかね。ここにいるばかりなんじゃないですかと。もし自分の県が町が、こんな事になったら、いち早く行って鎮めるように、そういう対策をやりますけど、福島県の先生方、何やってんだというような事を、私の耳元で言いました。その反対に、総裁は原発の事に触れない。地震と津波だけで、時間もなくて終わりましたが。違和感が残りましたね。

それから私の町でも、体育館に多くの避難者がいらして、ボランティア活動をしながら、その方とたまに知り合い、今度、ここの避難所を出て、借り上げ住宅を借りて、それ落ち着いたら、一緒に入ってくれませんか。そんな感じで、私が被災地に入ったのが 2012 年の 1 月末だったんです。

その時は、まもなく 1 年になろうとするけど、建物が、家があって、町があって、人がいない。これはなんだろうという。寒気っていうか、そんな感じで、風が吹けば、風の音と、それと倒壊しそうな住宅のシャッターの音だけ。目を閉じると風が見えるような、そんな雰囲気です。ずっとやってきたんですけど、最初は何をどうしたらいいんだか、カメラのシャッターが切れなかった。ハッと行って、それからシャッターきり始めたんですけど、涙と怒りだけ。1 時間くらいで戻ってきたんです。

本当に、放射能は目に見えないし、ただガイガーカウンターの数値が上がってくる。そんな感じで、間もなく 12 年になりますが、今まで 140 回ほど入って現地を調査、避難されている人達の話の話を聞きました。





左は 2022 年 10 月、右は今年 1 月撮影。放射線量が高いなどで住民は処分をためらう。

私達の代で、原発事故は終わるのでなく、これから何十万年っていうか、何百万年ってような年月の中で、活動はやっぱり継承していかななくてはならない。その土台作りをしていかなくちゃいけないんじゃないかなって、自分が命ある限り伝えていかなきゃならない、と思っているんです。

こういう風に思うようになったのは、2012 年の 8 月。夏休みに入った時に、たまたま知り合いの家に行ったら、ちょうど小学校 2 年生の子が、私の傍に来て、おじちゃん、私、大きくなったらお嫁さんにいけるの、と、こう聞かれたんですね。私は返事ができなくて……。もう本当に、その子に言ったのは、ごめんね、だけで、おえつが止まらない、急いで車に戻り、号泣しながら帰ってきました、家まで。

その晩、深刻に考えました。じゃあ俺に何ができるんだろう。俺はカメラマンだ。で、これまで職人を撮ってきた、ライフワークを変えなければ、と思いました。それが今、現実の状態です。



放射能問題がなく、ほんとうにうらやましい、と・・・

**奥平** 大震災・原発事故が起きて数カ月後だと思うんですけど、スタッフの志賀君と浜通りからずっと北上して、宮古まで行ったんです。そのとき、牡鹿半島などの入江の集落がみな壊滅状態で涙も出なかったですね。後に宮古に行った時、遊覧船が 3 隻あったのが、1 隻だけ沖合に出て生き延びたと聞きました。

その後も、数十回も三陸の方に行ってるんです。それを福島と比べ、復興が目に見えて羨ましいなと思いました。やっぱり、放射能の問題がないだけに、本当に羨ましく思いましたね。

先ほど、田代さんから「福島の実状はどうなんだ」と言われましたが、もう大震災すら忘却の彼方に行ってる感じです。原発事故なんかも、おそらく国民の関心なんてほとんどないと思うんです。だけど、実際は本当にひどい状況です。

例えば、みんな廃炉作業をやっていると思っているんですが、実際は廃炉作業なんかやってないんです。これは、単に再爆発を防ぐための冷却作業をやっているだけなんです。デブリが 1 基で数百トあるっていう



んだけど、耳かきみたいな物で1回に 10~20g 取ったところで、どのくらい時間がかかりますか。

東電はおそらく、デブリ取り出しをやりたくないっていうか、それが見えちゃうのね。その本音とやってる事のギャップが大変大きい。

もう一つは原発事故によって原子力緊急事態宣言が出されましたよね。それによって、もう日本の法律が全く無視されるようになった。どういうことかと言うと、例えば、1時間当たり 0.6 マイクロシーベルト以上、1 平方メートルあたり 4 万ベクレル以上が放射線管理区域なんですね。ところが、原子力緊急事態宣言によって、立ち入り禁止の札もなく、自由にもう出入りできるようになったんです。なおかつ、安全な所に住んでる人を、わざわざ大熊町とか双葉町とかに帰ってこいと言うんですよ。これは話が逆じゃないのって。なんで、わざわざ安全な所に

にいる人を、危険な所に戻さなきゃいけないの。

ほかにも色んな問題があるんですけども、細かい事は置いて、もう一つ、県民の関心が高いのは、子どもたちの甲状腺がんの問題です。例えば、青森とか大阪で患者が増えていると言うなら、原発事故が原因とはちょっと考えにくいっていうのは分かる。だけど、福島だからこそ、放射能の影響を第一に考えなきゃいけないでしょ。ところがそうじゃないんだよね。患者が異常に増えているのに、過剰診断だとか言って、原発事故との関連性を排除しようとしている。原発事故が起きたから患者が多いんじゃないかって考えるのは、論理的に普通でしょ。ところが、全然そうじゃない。そういう事を誰が許しているのか。その辺が、非常に不満ですね。

**飛田** そうなんですよね。今、おっしゃった問題。ここに持ってきたんですけど、この福島県民健康調査担当委員会の表っていうのがあるんですよ。基本調査についていう本調査で得られた線量推計結果、事故後、4 ヶ月間の外部被ばく線量率 99.9%、5 ミリシーベルトは、これまで得られる科学的知見に照らして、統計的有意さをもって、確認できるほどの健康影響が認められるレベルではないという結論を出しているんですね。総合的に判断して、放射能の影響とは考えにくいと。これ、福島県の検討委員会ですが。

## 一般の被曝基準は「年 1 ミリシーベルト」と法令の決まり

**田代** 一般の人の被曝許容量は、一年間で 1 ミリシーベルトがルールでしょう。それを、なんで、なくすずに、法令を変えないで、そういう風にするのか。福島では 20 ミリシーベルトまで大丈夫だと。

**奥平** その通りなんですよね。なぜそのようなことがまかり通るんでしょう。それを許しているのが、原子力緊急事態宣言なんです。

**飛田** そうですね。

**田代** 元々、その年間 1 ミリシーベルトという被曝の基準というのは、日本の放射線障害防止法という法律とそれに基づく文科大臣告示で決まっています。一般人の被曝限度というのは、年間 1 ミリシーベルトと今もちゃんと書いてある。だけど、福島は 20 ミリシーベルトだと、真っ先にそうしちゃった。

それを、非常事態宣言でやっている。なんでそうなるのという、全く大きな疑問が出てくる。この点は、僕も調べてみて、放射能問題は、原発が、日本に54基も、こんな狭い国にできた。これは、戦後、戦争で負けてアメリカが作った。当時の、アメリカの原発会社が日本に作ったわけで、手足になったのは、東芝とか日立ですね。これが、なんでそうなったのかという、源流は元々あるんです。そういう戦後国際冷戦という政治の構造がある、原点がある。私は、そう思っています。

**奥平** 私、強く思うんだけど、日本人は意外と建前と本音が違うでしょ。私は全部、原発をやめろとは言わない。さかのぼれば、原発は電力不足を補うために造られたんでしょう。ところが、いつの間にか変質して、プルトニウムを保有して、潜在的な核兵器保有国であり続けたいということになった。その意図を国民に隠したまま、青森県六ヶ所村に再処理工場を建設しているわけです。もう、使い道がないのに。

**飛田** どうにもならない。

**奥平** それから、原発の運転期間を40年から60年に延長し、さらに期限を無くすという。住宅だって4、50年でガタがきます。そのように簡単にルールを変更するのは、私は理解できない。小出裕章さん（元京都大原子炉実験所助教）によると、放射線管理区域にトイレがないし、食事もできないという。それなら、さっき言った毎時0.6マイクロシーベルト、あるいは1平方メートル4万ベクレル以上の所は立ち入り禁止にしなければならない。せめてそのぐらいやってくれよ、除染はいいから。それもやらないで、「帰って来い」、「帰って来い」って言うのは、私は理解できない。

### 双葉町と大熊町の避難状況（両町のホームページから作成）

双葉町（2023年1月31日更新）		大熊町（2023年1月1日現在）	
福島県内に避難	3, 918人	福島県内に避難	7, 732人
福島県外に避難	2, 707人	福島県外に避難	1, 018人

**田代** 病院にレントゲン室があります。やたらと入っちゃいけないっていう。ちゃんと、放射能のマークがついている。せめて、それくらいやってくれよという事ですね。放射線技師は、一切室内に入らないで外から遠隔操作で写真撮りますね。それは、小出さんのおっしゃっている事と全く同じで、そこで食事もできない。トイレも使えない。長時間いる事もできない。なんで福島だけそうでないのか。

**奥平** 原子力緊急事態宣言のせいです。

**田代** まるで、政治の逆さまというか、そういう事ですね。

**奥平** 問題はまだあります。そこに居住していないのに、その自治体の議員に当選したら立候補の資格がないという事で、当選したんだけど、後に失格になる事例がありますよね。ところが、福島県の場合は、被災地の住民はほとんどいわき市とか地域外に住んでいるのに、立候補して当選している。なんで、こんな事が許されるの。

興味があって旧自治省に問い合わせたら、関東大震災の時に都内の人たちが埼玉とか千葉県とか隣県に避難して、その時に投票を認めたケースがあり、それを踏襲しているという。内務省の通達だって。それと

これは違うでしょう。原発事故から間もなく丸 12 年ですよ。本来的には、立法措置を講じるべきなのに、なしくずし的に、こういう状態が続いているわけですよ。私は政治家の不作為が本当に許し難い。

田代 そうですよ。避難して住民は居ないけど、そこに固定資産税も何もかかっているわけですよ。言ってみれば、二重生活をさせられている。

飛田 私、飯館村でたまたま、放射能の勉強会っていうのが、参加した時です。宇宙飛行士だって、地球に戻ってくるで3ミリシーベルト被曝する。だから、その福島原発で起きた事故で、1ミリシーベルトが基準なんて非科学的だ。こう教えているんですね。これは、4、5年前に、飯館村で学校の先生の研修会、傍聴できるというので、私も行ったんです。そしたら、田中俊一氏（初代原子力規制委員長）がそう教えているんですよ。もう、でたらめな事ばかり言って。その1ミリシーベルトなんていうのは非科学的だと。自然系から出る放射能と、原発から出る放射能、ごちゃ混ぜにしてるんですね。だから、安全性の問題なんですよ。今、私は、この福島の原発問題っていうのは、本当にまた新たな放射能の安全神話なんだろうか、そういう風に思えて仕方ないです。

田代 この自然界の放射線ですけど、これは言ってみれば、原子状態・分子状態。原子状態なんですよ。ところが、原発から出た人工放射能は、原子炉の破壊物などと一緒にプルームになっている。いわば固まっているわけですよ。それで、あっちこっち飛んでいく。だから、全然違います。それを、意図的にごっちゃにして、自然界にあるから大丈夫だなんて、ありえない話。田中氏は「1ミリシーベルト神話」なんてあちこちで話し、書いています。これは、騙しのテクニックですね。



●トップコラム/前原子力規制委員長 田中 俊一  
●病院を止めるな！災害時に機能維持するために病院BCM導入を/（シリーズ4）医療機関の受援計画一支援を受け入れるのは避難しー  
●法令改正に備えて/（第3回）外部被ばく測定器定期報告書の変更点  
●お願ひ/ご連絡の際は、事業所番号を！  
●お年玉5円/当選者発表



田中 俊一

福島第一原発事故で露見された放射線防護の問題

2011年3月11日の原発事故から10年、しかし被災地の復興・再生の道筋は全く見えない状況にある。その最大の要因として、被災地に大量に放出された放射能が放射能に汚染された食品を供給しているのが、合理性を欠いている。これを改善するための、事故後に施行された放射線防護に関する基準である。

代表例が食品流通基準である。放射線被ばくは許せば低いと2011年ALARAの考え方に基づいての誤った理解と、国家の食品は100%放射能に汚染されているという実態とはかけ離れた規定に基づいて決められた結果、一般食品に対する<sup>137</sup>Csの基準が国際基準の約1/10、100Bq/kgと異常に低い値に設定された。事故直後の現状被ばく状況の中で、計画的被ばく状況に適用されるべき年間1mSvの総量構成要素を導入した自体が不合理であることに、加えて、個々の食品が放射線防護で一律に規制されていることも深刻な影響を引き起こしている。100Bq/kgを超えるサンプルが万一つも見つかったら、その食品の流通は一律に禁止

放射線防護に関する基準である。

たなかしんいち（前原子力規制委員長）

プロコーム●1945年福島県生まれ。会津高校卒業。1967年東北大学工学部化学系卒業。日本原子力研究所入所。東海発電所所長。理事長を経て、2007年原子力委員会委員長。2012年～2017年原子力規制委員長。退任後の2017年12月から飯館村に住民避難を支援。飯館村復興アドバイザーとして、飯館村をはじめ県内で復興の手助けもしている。



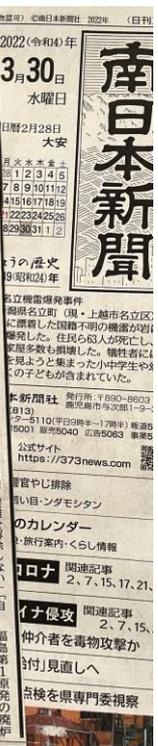
政治懇話会  
3月 産児会会場

原子力規制委員会前委員長  
飯館村復興アドバイザー  
田中 俊一氏

放射線基準 復興の妨げ

たなかしんいち 1945年、福島県生まれ。東北大学で原子核工学を学び、1967年に日本原子力研究所（現日本原子力研究所）に入所。日本原子力学会会長などを歴任。2012年から17年まで原子力規制委員会の初代委員長。退任後は飯館村に住み、18年2月から現職。

性になる。福島の事故では住民約15万人が避難を余儀なくされた。避難先で生活する中で、放射線被ばくが問題視されている。放射線被ばくが問題視されている。放射線被ばくが問題視されている。



2022(令和4)年  
3月30日  
水曜日

産日本新聞

福島第一原発事故被災地の現状と課題

このままでは、国が始めた放射線の防護策が復興の大きな妨げになる。復興の妨げになる。復興の妨げになる。

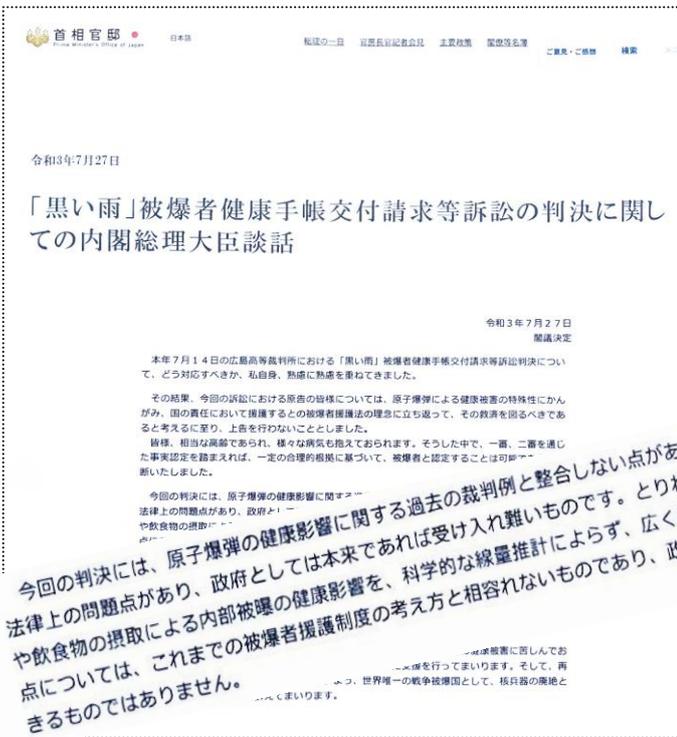
奥平 日常生活でも分かるでしょう。例えば、ちょっと悪くなった食品を食べても、体に影響する人ではない人がいますよね。だから、非常に感受性が強い人は大きな影響を受ける。そういう事は当たり前だと思うんです。1ミリシーベルト以下でも、影響を受ける人がいるかもしれない。にもかかわらず、なんで数字で、きちっとそういう事を決めるのか、ちょっと信じ難いですね。

### 原爆落としたアメリカが宣言、日本が付き従った

田代 先程のアメリカの関係で考えると、原爆を広島、長崎に落として、アメリカは9月に調査に来るんですよ。軍隊の調査になりますけど。その時に、ファーレルって言う准将ですけど、これはマンハッタン計

画の軍事責任者です。この人が言ったのは、死ぬべき者は全部死んで、もう広島にも長崎にも、放射能の影響は一切ないって、断言した。9月6日の記者会見で。これが、日本政府の基本方針になるんですね。

私が、非常に興味深かったのは、2021年7月、黒い雨で広島高裁のすばらしい判決が出ました。黒い雨が実際に降ったという蓋然（がいぜん）性があれば、救済すべきだと。実際、降ったかどうかではなくて、降る可能性があったのは、全部救済しろという判決です。菅内閣の時ですが、政府が控訴せず判決は確定しました。その際に、2021年7月27日の閣議決定で、「黒い雨被爆者健康手帳交付請求等訴訟判決に関しての内閣総理大臣談話」が出ています。



これは、控訴は断念したけれども、閣議決定は、「今回の判決には、原子爆弾の健康影響に関する、過去の裁判と整合しない点があるなど、重大な法律上の問題点があり、政府としては、本来であれば受け入れ難いものです。とりわけ、『黒い雨』や飲食物の摂取による内部被曝の健康影響を、科学的な線量推計によらず、広く認めるべきだという点については、これまでの被爆者援護制度の考え方も相容れないものであり、政府としては容認できるものではありません」と言っているんです。

ここは絶対に譲らない。困ってるなら被爆者健康手帳を出しましょう、そういう談話なんです。

**奥平** 似た事件に水俣病があります。水俣に行ったことがあるんですけども、驚いたのは、汚染された土壌を取り除かないで、そこを埋め立てて、きれいな運動公園になっていたことです。これには驚きましたね。根本的な解決をしないんですね。誤魔化して埋め立てる。もう一つは、周辺住民の健康調査をやっていないことですよ。今、意外にも水俣の山間部の方が、症状を訴えている。実は不知火海の沿岸の住民の健康調査もやってないんです。何故やらないかって言ったら、患者が増えるから。増えるのが嫌なんですよ。原発もそれと同じで、おそらく放射能の影響は、甲状腺だけじゃなくて、体の全般に影響している。そこで厳密に健康調査をやると、いろいろ問題が出てくる。だから、やらない。ですから、健康調査を、水俣でもやるべきだし、福島でもやるべきだと、私は強く思いますね。

飛田 そうですよ。だから、そういう意味で言うと、この場合は、やってる子供。当時18歳以下の子供はもちろん、これは甲状腺の弱い人達だからやるべきだけでも、全人口やるべきですよ。大人も。

**奥平** 大人も大丈夫じゃないんだから。大体、法律で1ミリシーベルトと言っておいて、それで調査もしないのはおかしいでしょ。

**田代** 他の癌が、他県と比べて、突出してきたらやっぱり放射能の影響だろう、となるわけですよ。

**飛田** 子ども達の、今迄、毎年やってる福島調査で、もう何百人と甲状腺がんが出てますからね。それでも、さっきみたいに放射能の影響はないという。考えないようにという。どこが、どの頭して考えないって言うのかよくわからない。

**奥平** 失礼だけど、相当、偏差値の低い話だと思いますよ、これは。

**田代** だから、政府の、そういう健康影響、放射線の健康影響を認めないという、この頑迷な所が、やっぱり行政では徹底してるんじゃないですかね。

**奥平** 共通してますよね、これは。

## ビキニ被曝への対策も同じ構図ですね

**田代** ビキニ被災もそうなんですよ、実は。ビキニでは、何千人も被曝してるわけです。第五福竜丸だけじゃなくて、二千隻ぐらい、ビキニ近辺の海域にマグロ漁船が出てたわけですよ。その調査、一切やってないですから。帰ってきて、第五福竜丸の久保山さんが死んだから、そのまま五福竜丸の関係者だけ入院させて。あの時は、アメリカから当時の金で一人当たり 200 万。金が出たんですよ。これでもう終わり。一切追及するなど。

もう 2021 年 3 月お亡くなりになったけど、第五福竜丸の大石又七さん。私、大石さんと 10 年ほど付き合わせていただきました。色んな話を聞きました。彼にも金は出てます。それから病気になって入院した第五福竜丸の船員、と聞いています。それで払われたんですよ。だけど、それがもう口封じ。だから、大石さんも、あの時には、あれこれ言われたんですよ。それで、焼津に居づらくなって東京に出たんです。東京でクリーニング屋始めて、なんとかそれで生活の目処を立てようとして、頑張るんですけど、なんせ体がやられてるから。何度も倒れられて、残念なことになりましたけど。

しかし、彼の被曝問題での活動は、歴史に残るほど素晴らしいものでした。人間的にも非常に謙虚で、しかし精力的でした。

**奥平** それに関して、どうするかというと、やっぱり行政とかリーダーが、「じゃあ健康調査をしましょう」と言って、それを実現させるのが、重要な仕事だと思うんですよ。ところが、誰も言わない。知事も言わない。町長も言わない。まして、「県民全体の健康調査をやろう」なんて誰も言わない。国会議員がなぜ提案しないのか疑問に思っているんです。

**田代** 結局、先の内閣総理大臣の談話で言ってる、被曝の影響っていうのは、認められないと。ここに帰ってきますね。これは、アメリカとのそういう原爆以来の約束事で、これをひっくり返す事は、今の日本政府ではできないと、いうことですね。

**飛田** できないですね、うん。

**田代** これを、やっぱりひっくり返さなきゃいけないね。

**奥平** 国がやらないなら県がやるとか、県がやらないなら市町村がやるという形で話を進めることが大事じゃないんでしょうか。

**田代** そうすれば、暮らしが立ちます。一つの自治体とか、県の自治体もせざるを得なくなるしね。それは、自治体のいいところで、これは戦後、地方自治法っていうのは、そういう意味合いもあるわけですから。自由独立の、国の言う通りやれっていう訳でもない訳で。実情合わなければ、そうではないという事でできるわけですから。それも、三割自治などといわれて、なかなか、自由にできないようにはなっているようですけども。とにかく、今おっしゃった根本的な事を、言う人がいなくなっている。これは、自治体の皆さんもそうですけど、内閣の人達はもちろんの事。内心思っけていてもだめなのね。言ってくれなきゃ。それは大きな声になりようがないですよ。住民に言えって言ったって無理なところがある。

飛田 ええ、うん。

田代 わからないんだから、全体の事。だから、やっぱり僕らも含めて、そういう事を調べたり、あるいは色々勉強して、主にメディアですね。新聞・雑誌・テレビ。こういう所が、もっともっと、福島のリアル、リアルな状況に対して、本当に真摯にならなきゃいかん。

飛田 原発で、我々調べたんですが、今大熊町で教育施設整備やってるわけですよ。ところが、これに金が45億円以上かかっている。しかし戻ってくる子供は幼稚園・小・中で6人。他の17人は転校。こんな事を平気でやる、そんな金があるなら、被災してる人達に、生活をきちっとする事が先じゃないかなって思う。

<町は、図書館や公民館、博物館などの機能を持つ大熊町社会教育複合施設の整備を計画しています。(HP) >

機能の融合について  
(大熊町社会教育複合施設の整備方針イメージ)

第1回協議(3)

「歴史資料として重要な公文書」

「図書や記録、その他必要な資料」

「実生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業」

「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料」

図書館  
公文書館  
公民館  
博物館  
その他

**重なる部分を大事にしたい！  
資料や人を共有して、  
気づきや学びのきっかけを  
増やしたい。  
「複合」というより「融合」**

ですから、本当に箱物だけ作って、県も知事も始め、どんどんどん復興してます、復興してますって言う。復興っていうのは、人が戻って初めて潤うっていう事があるんだけど、箱だけでは。前に行った所で、70代・80代の高齢者の人達が、ここなんちゅう所かわかるかい、って言った。ここにいるのは、皆、もう若くても今度来た人で70代よ、もうって。ここをなんていうかって言うと、「災害復旧姥捨山」だよって、そういう話なんですよ。で、後は皆見てみ。産業医のほうが多いんだよ、ここ。ところで、10年過ぎたらどうなるの。誰もいないでしょ。だから、ここは最終的に言うと、中間処理場に捨てられて、廃棄物処理場になっていくんだべ。うん。そういう風な声をあげる人が、すごく多くなったですね。

奥平 それ、本当に同感ですね。自治体っていうのは人が住んでいて、その利便性を高めるために必要になってくるわけでしょ。それが逆なんですよ。

田代 その通りですね。

飛田 だから、先週も私の知ってる人が来て、この人は被災地に、俺は絶対戻らないと。でも中には、もう

税金を払えなくなってきた、そういう人がいるから、もう、東京の方の不動産屋さんが来て、買ったたくと。うん。そんでないと、今度払えないとそれに追加税かかって、滞納すると処分になってくると。そうすると今度、移住先でも、その提示くらうと、行くところなくなってくるって。だから、俺達は、もう本当に逆に考えると、まるで俺達が原発事故を起こしたような格好で、国・東電は知らん顔だと。だから俺達のことなんて、もう全然ないって。本当、気にせず、だと。だから、息子達や孫は、絶対福島戻らないと。

中には、10日くらい前には電話で話した人が、俺土地持ってたんだけど、もう子供達は財産なんか放棄してると。役場行って、俺もう85過ぎるんだから、固定資産税もう払えなくなると。で、役場に寄付すると。いや、それは困るんですって、役場は。困るのはどっちだと。俺達だべと。役場どっち見てるんだと。国見てるのか、俺らのことを見ているのかと。どうするんだ、これからって、あんた達は。俺ら、もう後5年ぐらいしたら、いねえんだよって。子供達も、財産放棄してるし、もう二度と戻らないと。

こういう風な問題が、その人が別の所に土地あったんですけど、もうただ同然でもう売っちゃったと。こういう風な問題って、ものすごく出てくる。それから今度お墓。ここも、もうほとんどの所が、線量が多いので納骨ができない。今度新しい所にやれば、また今度、何から何までお金がかかってくると、そのお金もないと。

これは、もう他人事じゃなくて、やっぱり原発事故が起きると、こういう風になってくるんだっていう事をですね。やはり伝えていかなきゃなんないなと思ってるんですね。

**奥平** おそらく最終処分場になるんだ、と。そういう風な目論見でやっているんですよ、うん。

**飛田** だから、ある自治体の、ある議員の体験ですが、俺は、忙しくて議会あっても出ねえんだ。何が忙しいんだ。金勘定が忙しいんだ。それで、議員を辞めたら、そうはいかない。そういかねえつつうのは、情報が入ってこないんですね。だから、やっぱり県内の不動産屋さんなんか、関東から来てる不動産屋さんが、そういう風にしてそれぞれ結託して、後10年、15年した時には、最終処分場で、それを今度莫大な金額で売りつけるっていう。

## 箱モノばかり作って、人戻らず 何の復興か

**奥平** やはり原発事故の後、その収束というのはどういう事なのかをきちんと定義しなかった問題なんだろうと思うんです。今、飛田さんの話を聞いてよく分かるんだけど、10年以上そこに住んでなくて、職場も別な所に移って、それで大熊町・双葉町に戻っても仕事がないわけでしょう。現実的に生活が不可能なわけですよ。

復興っていうのは、50年先、100年先の話なんです。除染に無駄なお金も使わないで、飛田さんのおっしゃったように、住民の生活再建費用にすれば、もっと話が簡単だと思うんだけど。

農業をやりたい人は、全国に耕作放棄地がたくさんあるんだから、そっちに行って頑張るとか。にもかかわらず、“箱物、をなんで作るか”という、要するに、国が「復興がちゃんと進みますよ」という風に見せたいからでしょう。実際は先ほど言ったように、原発事故は収束してないわけですから。復興の話どころじゃないですよ。

**田代** 見せたいが為に。汚職だらけのオリンピックも持ってきた。

**奥平、飛田** そうそう。

**田代** それで、今だに汚染水が、土壌からじゃぶじゃぶ増えているんですよ。

飛田 今も増えてます。

奥平 それで復興だっていうのは、ちょっと違和感があります。汚染地域を 50 年ぐらい封鎖して、「放射線量が減ったから、そろそろ考えようか」って言うのでも遅くない。

飛田 そうですよ、うん。

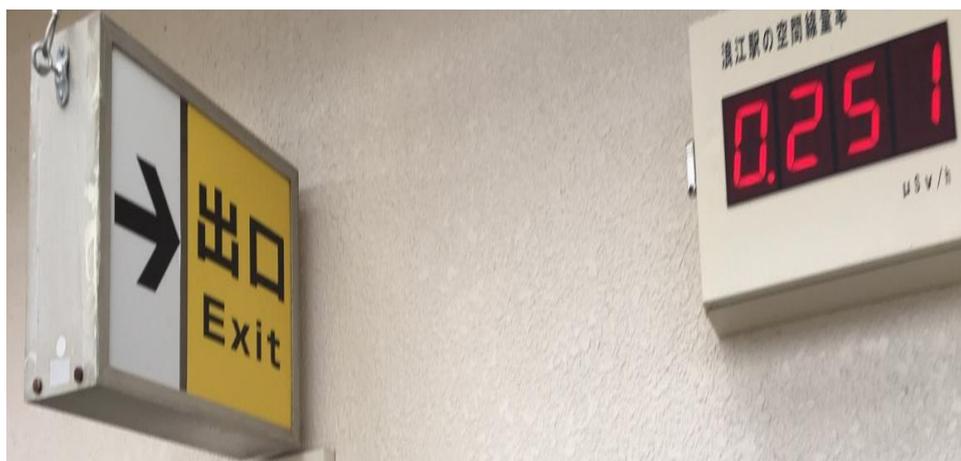
田代 チェルノブイリで、かぼつと石棺で被ってる。あれのほうが賢いやり方ですね。あれでも、今、漏れてるらしいですよ、ヒビ以外にも。

奥平 また、100 年経ったから建て替えるって。

田代 それは、それでいいわけですよ。爆発して燃えて、いっぱい放射能あるのに、いや大丈夫ですって言ってやるほうが、よほど危ない。

奥平 うん。うん。国道 6 号線だって、常磐線だって、通すなら汚染地域をトンネル化すべきです。それをなぜやらないんだろうって思います。

田代 常磐線が全線開通した 2020 年 3 月 14 日には、計測器持って乗りました。「ヒバクと健康レター」26 号にも書きました。まだ放射線量が高いよ、って。



飛田 我々の考えは、特に特別な考えではないんで。普通に考えるんですけど。

奥平 役場など大きな建物を建てて、その周辺は除染して大丈夫だって言う。ちょっと外れるともものすごく高いです。役場職員ですら、そこ住んでなくて、他所から通勤してるわけです。それで大熊町や

双葉町に帰ってくれと言うのは、私は変だと思いますね。

田代 飯舘村の村長さん、あの人も、他所から？

奥平 福島市の息子の家から通っていたそうです。

飛田 まあ、めちゃくちゃなんですよ。昨年 1 月に、私は、大熊の駅舎の除染して解体した所の土を取って測ったんですね。43 万ベクレルですよ。

奥平、田代 え——っ。

飛田 これで、除染云々ですから。45 万ですから。こういうところに子ども戻してどうするんだって、うん。私も、あそこ取材する前は、絶対、線量計持って行って、ここは線量いくらだって、公表しなきゃだめだよっていう。

全線開通時の常磐線駅と付近の放射線測定値  
(マイクロシーベルト時= $\mu\text{Sv/h}$  基準は0.23)

- ◆6号線富岡駅周辺1.689  $\mu\text{Sv/h}$
- ◆夜ノ森駅駅前30メートルほどの住宅4.59  $\mu\text{Sv/h}$
- ◆大熊町大野駅ホーム乗客乗降場所0.31  $\mu\text{Sv/h}$
- 6号線大熊町周辺1.12  $\mu\text{Sv/h}$
- ◆双葉駅構内0.259  $\mu\text{Sv/h}$
- 6号線双葉町周辺0.78  $\mu\text{Sv/h}$
- ◆浪江町駅出入改札口ホーム 0.251  $\mu\text{Sv/h}$

測定器：アロカ シンチレーション サーベイメーター

田代 そうなんですよね、昨年 9 月でしたが、行った時だって、やっぱり線量が 1 マイクロシーベルト以上ですからね、測っていくと、土手ぎわだと 4 マイクロシーベルト。

奥平 スタッフの志賀君が「大熊町と双葉町の公共事業なんて税金の無駄遣いだ」って書いたんです。そしたら、役場が大変おかんむり。だけど、我々は別に役場のためじゃなく、住民のために発言しているわけです。役場がニコニコするような原稿なんか書いてられませんよ。

田代 おっしゃる通りです。あらゆるメディアが、そういう立場貫いてくれれば、多少は違うんです。皆ね、多数はそういう行政がいう通りの事書いたりしますからね。

奥平 本当、我々の考えが突出してるわけじゃないんです。

飛田 浪江町津島なんですけど、2018 年で 3.1 マイクロシーベルトですよ。こんなに高いんですよ。これも写真に撮ってあります。避難指示解除された移住者の中には、山菜やキノコを食べているんですね。こういう物を食べると放射能が蓄積されてるんだよって言うんですけど。

たまたま私の知っている人が、ホールボディーカウンターやっているとこないですかっていう電話きたんですよ。18 年なんですけど、二本松の独協大学分室に検査してもらったんです。セシウム 137 が 6.77。134 が 0 だったんです。ところが、検査終わった次の日に、その被災地からとって来たキノコでから、キノコご飯べたんだと。その時は、絶対食わねえよ、そんな測りもしないで、もうきのことか云々はだめなんだからって。それでも 3 時間、4 時間もして、じゃあつつつぐい呑み一杯、食べたの。そして、食べたからどうすっぺって言うから、じゃあすぐに今日あれだから、明日でも行って測ってきてつつつ、これが 10 月 6 日に測ったの、3 日後です。そしたらセシウム 137 が、6.34 マイクロシーベルトまで上がったんです。そして、セシウム 134 が 0 だったのが 7.8 まで上がったんです。わずか、ぐい呑み一杯ですよ。キノコ。だから、食べるとこういう風な結果になってくるんだよと。

私の知っている人に、何食ったってなんでもねえぞって言うから、それはすぐには出ないよって。これ見せたったらさすがに驚いちゃって。え、こんなんなるの。そうだよって。これ、いっぱいじゃねえんだよって。ぐい呑み一杯だけだよ、食べたのは。それでも、こういう結果になるんだから、食べてればこれが蓄積されてくるんだよって。

奥平 まあ、そうだよね。

飛田 だから、食べてはならないというのは、この事なんだよって、私は言うんですよ。やっぱこれ見せると、さすがに驚いて、いや、食われねえって。これ見せない時、話すると、もう議論が平行線ですから、だから必ずそういう人に、これ見せてやるんですよ。食べるとこういう風になるんだよって。

## ブロンズ像まで立てた飯舘村

奥平 全国的に有名になった飯舘村ですが、実は原発事故前からけっこう菅野典雄前村長に対して批判的だったんです。なぜなら、スタンドプレーというか、売名行為的というか、そういう政策が多かった。例えば、男性の育児休暇制度を設けるとか。民間でもやってない事を、なんで役場が先に、と。かっこつけてきたんです。有能な村長をアピールしたかったんでしょう。

原発事故の対応は、結局、原発事故を千載一遇のチャンスと捉え、国から、いかに予算をとるかという事になった。それについては、村民の中に「そうだ、そうだ」って言う人もいたわけですね。その結果は、何



千万円かでブロンズ像（ブロンズ製ベンチ）を2基設置した。その作者の芸術家から見れば、「芸術に理解がある村長だ」って言うかもしれない。しかし、普通の自治体がブロンズ像に数千万円も使いますか。あぶく銭が国から来たから、そういう事を行ったんでしょう。

田代 どんなブロンズ像？

奥平 かなり、抽象的な作品。今も道の駅にあります。

飛田 あれは驚きましたね。

奥平 そんな事、行政のやる仕事じゃないでしょって。そうではなく、村民に金を配れって言いたい。  
（注・佐藤八郎村議によれば、像全体で6千万円にのぼるのではないかと、いう。）

◆飯館村では、静岡県在住の彫刻家・重岡建治のコレクションがご覧いただけます。

道の駅までい館	ブロンズ像2 木彫3
ふかや風の子広場（道の駅北側）	ブロンズ像2
交流センターふれあい館	ブロンズ像1 木彫8
いいたて希望の里学園	ブロンズ像2 木彫7
までいの里のこども園	アルミ像1

表題含め2020年「いいたてむら暮らし 応援ガイドブック」より

◆「平成30年2月いいたて議会だより」から

平成29年 第10回飯館村議会臨会 平成29年度飯館村一般会計補正予算（第6号）平成29年 第11回飯館村議会臨時会 平成29年度飯館村一般会計補正予算（第8号）

質問 学校施設整備備品（1,721万円）のブロンズ像と木彫はどこに設置するのか。また1体ごとの金額となぜブロンズ像が必要なのか。

答弁 ブロンズ2体壁面設置アルミ製1体・木彫5体であり、前庭に3体設置・その他木彫は校舎内に設置予定。価格はアルミが50万円、高いものでブロンズ像が500万円であり、作品8体分の予算を計上している。また、子供達の情操を育むということで想像力、さらには心の動きを豊かにするという心で心の教育にもつながるもので適する場所に配置をしたい。

これまで飯館村は農業でご飯を食べてきたんだから、農業再開に向けて農地の客土をやるべきと言ってきたんだが、それをやらなかった。今頃になってですよ、ちょこちょこやっている。

田代 飯館村って、放射線を含んだ土地をどっかにまた使おうっていう。そういう事もやったでしょ。長泥地区の帰還困難区域で汚染土壌再利用の政府的な実証実験をやりました。今も東京でやろうとしています。南相馬でも終わって、今、東京新宿、所沢、つくば3カ所でやろうとしていますね。環境省ですが。

奥平 だけど、住民がそれに賛成するかどうか。

飛田 そうですよ。

奥平 本誌はこれまで結構しつこく取材してきました。住民の集会に参加して、さっき飛田さんが言った、「私、嫁にいけるんでしょうか」という若い女性の発言を生で聞いている。行政はそれに応えているとは到底思えません。若い人と言えば、例えば、日本は北朝鮮よりましだとか、あるいは中国よりましだとか、他のひどい国よりはましだって言うんです。だけど、日本の細かい所を一つ一つ見ていくと、欠陥がたくさんあるんです。今言った話もそうです。

どうせ選挙なんか行かなくたって、世の中変わらないから行かない。そして、自分が直接不利益受けなき

やいいんだって感じになっているわけですよね。そこで若い人に言いたいんだけど、「いやそうじゃないよ。意思表示しないと、自分の意図しない所に持っていかれちゃうよ」って。

## 若者狙う、防衛省の国民マインドコントロール

**田代** そこを、防衛省などが狙ってきていますね。マインドコントロールって今、統一協会（教会）で、問題になっているんですけど。国民を、マインドコントロールする。今度の防衛基本文書に書いてある。金と組織持ってるから。それやられたら、たまりませんね。SNS やサイトで毎日のように、やるってわけだから。やっぱり僕等なんか踏ん張っていかないと。それは、国会議員を選ぶのも、もちろんそうだけど、その前に、メディアの人達、写真も含めてね。そういう人々や周りが、しっかりしてリアルを見つめていかなければ。こんな状況許してたらなんともならない、と思いますね。

**奥平** 50年近く地方行政を見ていますと、よく首長さんが「住民参加の地域づくり」なんて言うんです。

ところが、じゃあ本当に意見を言ったらどうなるかという、だんだん邪魔者扱いになってくる。「いい意見なら取り入れる」という、そのシステムがない。

だいたい経ちますけど、埼玉県志木市で住民委員会を議会とは別に作って、色んな議論をすることになった。それを取材に行ったことがあるんです。いいアイデアだ、と。確かに、議会人より色んな実践的な専門家がいて、そのアイデアを行政が取り入れていた。それは参考になりましたけど、全然普及しない。全国で先進的な行政をやっている自治体はたくさんあるんですが、それが全然広がらない。なぜなのでしょうね。

**飛田** 圧力かかるんじゃないんですかね。あるいは、選挙でそういう体制をひっくり返す。なかなか手がこんでくるから。

**奥平** 岩手県の旧沢内村の、深沢元村長は色んな圧力を受けたけど、乳幼児・老人の無料医療化を実現させたんです。また、当時、除雪してなかったけど、ブルドーザーを特別会計で購入し、それで県道や町道の除雪をやり、夏は圃場整備をやった。それが全国に広がった。行政課題というのは時代によって変わっていきますから、現実的な課題は何なんだ、と。たとえば、国民年金しか支給していない独居老人に対して生活扶助制度の一部を適用できないとか、そういうアイデアがなぜ出てこないんだろうって、非常に疑問です。夫婦が元気な時は、国民年金でも暮らせるんです。ところが、どちらかが亡くなると年金が半分になり、暮らせなくなる。結局、子どもさんの所へ行ったりして、集落からどんどん人がいなくなっていく。

**田代** 今、我々75歳以上の保険金がありますね。今度そこから、妊婦さんの援助金を増やすのに必要な金を出す、っていうわけです。なんと無茶苦茶な事、普通は、そんな事考えられないでしょ。

**奥平、飛田** そうですね、うん。

**田代** なんでそんな事するのか。要するに、軍事費を今の2倍にするから、色んな金を注ぎ込む。国民福祉そういうのは、身内自分等でやってくれていう事でしょ。だってコロナの積立金も使う。それから病院も、国公立病院が積み立てている積立金も、軍事費に入れる。無茶苦茶な事やり始めている。金を今の2倍の金を入れる所の防衛省はまだ計画が決まっていない、それを何に使うか。もうやりたい放題だ。だから、国民のマインドコントロールするみたいな考えが出ているのでしょうかね。

**奥平** 私もちよっとお話ししたいんだけど、防衛費を大幅に増やそうっていう動きがある。これまでは、敵地への攻撃はアメリカ軍が対応するという専守防衛政策だったわけでしょ。それを、なぜ変えたかを説明し

てもらいたい。ところが、最初に予算ありきでしょ。敵基地攻撃と言ったって、中国とかロシアみたいに広大な国土の国に対して、日本のミサイル攻撃の場所は限られるわけです。一方、彼らは遠くの基地から日本を攻撃できるわけです。敵基地攻撃力を持ったって、たかが知れてるんです。

田代 そう。だから敵基地攻撃すれば、報復されるでしょと。

飛田 一発打ったら。

奥平 5 発くらい返ってくるでしょ。南西諸島の自衛隊のミサイル基地もそう。基地を作るなら、住民用のシェルターを作ってあげろよ、って。それが先でしょって、これは。一緒に集まる時間もないなら、世帯ごとに作ってあげたらいいじゃないですか。そういう事やらないで、本当に住民の安全を守れるんですか。

田代 ミサイルだけ揃えようって言うのは、おもちゃじゃないんだから。それで国民生活の方を、ざらざら削って。国予算が 140 兆ぐらいですね。そこに 軍事費 43 兆を入れようっていうわけだから。そのうち予算の半分以上が、軍事関係になってしまう。

奥平 福島市内に、自衛隊の駐屯地がありますけど、何やってるのかなと思う。車がたくさん停まってるんですよ。毎日、何やってるのかな、と。安心させてくれないっていうか、我々はこういうことをやっていますと納得させてほしいですね。

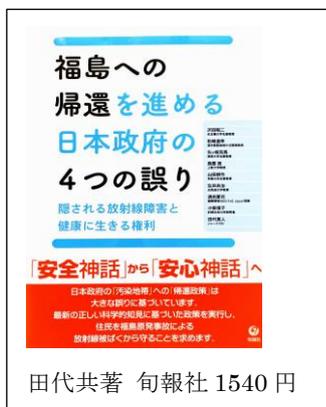
田代 そうですね。今度の、軍事費のも、そういうもう無茶苦茶増やすという。国家予算の四割近くになっている。それを、元の防衛長官の中谷という方が、高知にいらっしゃって、四国行った時に色んな話を聞かせていただきましたが。彼ですら、そんな、金だけ決めて中身は全然説明していない、っていってます。

奥平 それは、予備費を計上するのと同じ話でしょ。それで政府の財布代わりに使うっていうか。

田代 何にでも使える。

奥平 安倍さんが辞めても、ああいう人が出てくるわけだからね。

田代 そろそろ、時間ですね。今日は長時間、ありがとうございました。(了)



同封の振替用紙は、当法人へのご寄付用です。よろしくお願い致します。

「LETTER」の内容についてのご意見は下記へお寄せください

一般社団法人 被曝と健康研究プロジェクト 代表 田代真人

〒325-0302 栃木県那須町高久丙407-997

◆別図 2011年7月27日 文部科学省及び栃木県による航空機モニタリングの結果(C134,C137)  
 (文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び栃木県南部における空間線量率)

